

茨高教組 F A X 通信

県教委、小川高校・里美分校の閉校を決定

生徒はどこで学べというのか！！

茨城県教育委員会は本日(5/25)の定例会議において、高等学校の統廃合を決定した。

閉校 … 里美分校（募集停止 H23.4、閉校 H25.3）

小川高校（募集停止 H23.4、閉校 H25.3）

分校化 … 常北高校（水戸桜ノ牧高校の分校（1学級）、H25.4）

今回の決定は地域の実情をまったく無視した決定です。鉄道の廃止や路線バスの減少など小川・里美の両地域は交通事情が極めて悪い地域です。それぞれの地域から高校がなくなること、経済的理由などを含め、高校進学をあきらめざるをえない生徒が出るのが懸念されます。

今回の決定は、地域的に不利な通学事情を抱える生徒の「学習する場」を切り捨てるものであり、容認することはできません。

統廃合ではなく、高校でも少人数学級の実施を！！！！

茨高教組は生徒の学習する場（権利）をなくす統廃合に反対し、これまでも交渉等を行ってきた。さる、5/21にも高校教育改革推進室と交渉を行い、生徒数が大きく減少しない「第2次県立高校再編整備計画の前期計画（平成23年度～25年度）」の期間は、当面、統廃合を行わず志願状況等の変化を十分に検討するように求めた。

「高校授業料の無償化」等による県立高校への志願者が増加し、県立高校では特別な教育的ニーズを持った生徒が増加している。いま、求められていることは「高校統廃合」ではなく、生徒の学ぶ権利を保障する教育条件の充実である。地域の町づくりの観点からも、生徒数の少ない地域や志願者数の少ない学校での先行的少人数学級の実施こそ、教育行政としての県教委の行うべきことである。



茨城県高等学校教職員組合

〒310-0853 水戸市平須町 1-93

TEL 029-305-3075 FAX 029-305-3317